

令和5年度

障がい児保育専門セミナー

ゼミ形式の参加型研修
(講師による講義+事例検討)
年間8回の講義を通じて得た学びを
職場へフィードバックし、保育実践に
つなげることを目的としています。

・いろいろな方面から障がいに対することを考える良い機会になった。

・講義だけでなく、他施設の方の事例を聞いたり、自分の事例に対して意見をもらえたり、勉強になった。

(受講者アンケートより)

★対象: 保育経験年数3年以上の保育士・保育教諭 全日程8日間受講可能な方
★受講者各自の「事例検討」のため、第2回講義前に資料作成していただきます

全8回 14～17時 / 大阪社会福祉指導センター4階 研修室(1)

日 程	テーマ	講師
1 5月22日(月)	オリエンテーション/指導計画等	
2 6月19日(月)	事例検討①/応用行動分析	・安原 佳子 先生 (桃山学院大学 教授)
3 7月24日(月)	事例検討②/障がいの理解	・木曾 陽子 先生 (大阪公立大学 准教授)
4 9月 4日(月)	事例検討③/保護者支援と連携	・鶴 宏史 先生 (武庫川女子大学 教授)
5 10月16日(月)	事例検討④/精神疾患の理解と精神的な問題を抱えた保護者の支援	・和知 富士子 先生 (NPO法人 児童虐待防止協会 専門委員)
6 11月13日(月)	事例検討⑤/虐待について	
7 12月 7日(木)	事例検討⑥/保護者支援(その2)	
8 1月15日(月)	振り返り/再検討/ゼミ総括	※プログラム、講師、会場は事情により変更になることがあります

保育部会会員 : ¥21,000
保育部会非会員: ¥26,000
※支払方法等詳細は受講決定通知メールにてお知らせします

定員: 30名
※定員を超えた場合は抽選にて受講決定します
※既定の人数に満たない場合、研修中止になる可能性があります

申込はこちら

★申込締切
4月21日(金)

研修申込みされる皆様へ

大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター 研修グループ

研修にお申込みされるにあたってのお願い

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループでは、安心して皆様にご受講いただける環境を整えてまいります。「参加者の皆様へのお願い」事項にご協力ください。

■新型コロナウイルス感染防止のための10の対策

- ①受講者定員を縮小し、受講者間の距離を確保します。
- ②受講者・講師・スタッフともに、マスクを着用します。
(※場合によって、フェイスシールドまたは、透明ビニールカーテンを設置)
- ③会場入口に消毒液を設置いたします。
- ④休憩時等、定期的な換気を行います。
- ⑤手が触れる箇所を中心に、会場内を消毒します。
- ⑥事務局スタッフの毎日の体調チェック、手指の消毒を徹底します。
- ⑦講師の当日の体調チェックを行います。
- ⑧研修備品等の共有する際は、ビニール手袋の着用をお願いする場合があります。
マイクで発表する場合は、その都度消毒します。
- ⑨昼食時は、マスクを外した状態での会話はお控えいただいております。
- ⑩ゴミはお持ち帰りいただきます。

■参加者の皆様へのお願い

身体的距離の確保

- ・会場では他の受講生との距離を空けていただきますようお願いいたします。

マスクの着用

- ・研修参加の際には感染を広げないために、マスクの着用をお願いします。マスクはご持参ください。

消毒液のご利用

- ・咳エチケットの実施や手洗いやうがい、手指消毒の徹底にご協力をお願いします。
会場入口に、消毒液をご用意しています。

日々の健康チェック

- ・検温など体調管理のご協力をお願いいたします。
- ・発熱、咳などの症状がある場合は、体調を最優先していただき、ご受講をお控えいただきますようお願いいたします。(熱が37.5℃以上の場合は、ご受講いただけません)
- ・研修当日は本会研修グループHPの[「健康チェック」](#)にてセルフチェックをお願いします。
- ・研修当日、受付にて体温チェックさせていただく場合があります。
- ・研修中に体調が悪くなられた場合、すぐに事務局までお申し出ください。

<座席について>

- ・座席は、1テーブル1～2人とし、受講者同士一定の間隔をとります。
研修によっては、演習を実施します。その場合も、受講者同士の距離を確保したうえでグループ化し、マスクの着用、または、フェイスシールドを使用する場合があります。
- ・演習は、中止、または一部簡略化して実施する場合がありますことを予めご理解ください。

なお、新型コロナウイルス拡大や地震等自然災害により、やむを得ず研修を中止または延期させていただきます。
中止または延期させて頂く場合は、速やかにご連絡させていただきます。